

令和3年度第6回理事会議事録

一般社団法人
静岡県建設コンサルタンツ協会

1 開催日時 令和4年3月18日(金) 10時15分開会 11時30分閉会

2 開催場所 協会会議室

3 理事会開会

(1) 出席した役員等の氏名

理事 森崎祐治 芹澤秀樹 服部剛明 藤山義修
齋 秀之 浅岡諭志 小田秀昭 蓮池康彦 牧田敏明
監事 杉山 博 小田稔彦
事務局長 石原敏男

(2) 理事会成立の報告

事務局から、理事9名のうち9名全員が出席しており、定款第36条に基づき理事会は成立するとの報告がなされた。

(3) 議事録署名人の選任

事務局から、議事録署名人は定款第37条の規定に基づき出席した会長及び監事となる旨を説明するとともに、議事録作成後の記名押印を依頼した。

(4) 会長挨拶

議事に先立ち、森崎会長から挨拶があった。

(5) 議長選出

定款第35条の規定に基づき森崎会長が議長に就任した。

4 議 事

(1) 法人の管理運営

ア 令和3年度事業報告(案)及び令和3年度収支決算見込み

事務局から、上記の2件について一括報告が行われた。

令和3年度の事業報告(案)に関しては、法人の管理運営に関する事業として社員総会を令和3年4月16日に開催したこと。理事会を年6回開催し、社員総会の議決事項、法人の業務執行の決定等を行ったこと。令和3年4月9日に令和2年度の事業報告及び決算に関する監事監査を行ったことについて説明があった。

また、委員会等の事業については、第16回技術研究発表会、関係機関との意見交換会は開催したが、新型コロナ感染拡大の影響を受けて、新年賀詞交歓会及び各部会主催研修会の一部は中止となったとの説明があった。

行政機関への協力事業については、災害支援関係事業として国や県との「災害支援に関する協定」に基づき、道路啓開訓練など各種訓練を実施したこと。県の実施する土木技術職員研修への講師派遣や土木・建築フォトコンテストの共催を行ったことなどについて説明があった。

令和3年度の収支決算見込みに関しては、令和2年度と同様に新型コロナ感染拡大防止に配慮した事業の中止や縮小があったことから、年度当初に計画した予算の執行率が86.0%に止まったとの説明があった。

なお、このことに伴い、令和3年度の執行残額は450万円余となる見込みであり、このうち280万円余を積立預金、170万円余を次年度繰越金として整理するとの補足説明があった。

イ 令和4年度事業計画（案）及び令和4年度収支予算（案）

事務局から、上記の2件について一括報告が行われた。

令和4年度の事業計画（案）に関しては、協会の事業を「法人の管理運営」、「委員会等の事業」、「行政機関等への協力」の3本に体系化し、それぞれの事業について予定される事業の概要を明記したとの説明があった。

令和4年度の収支予算（案）に関しては、収入については、会員が1社退会するため若干の収入減が発生するとの説明があった。なお、本件に関しては、森崎会長から退会の経過について補足説明があった。

支出については、事業費支出、管理費支出及び積立預金支出等を合わせた全体の事業費は1,620万円余であり、令和3年度の2,060万円を440万円程度下回る規模となること。この要因は、令和3年度は広報冊子の作成及び職員退職給与の支出により予算規模が拡大したためであり、令和4年度は、ほぼ例年並みの予算規模であるとの説明があった。

ウ 令和4・5年度役員の選任

事務局から、各地区の役員候補者推薦状況について報告があったが、西部地区からの候補者が未定であるため、役員において協議の結果、次回（令和4年4月8日）の理事会で全体の調整を行うこととされた。

エ 令和4年度当初の予定

令和3年度事業報告及び収支決算等に関する事業監査、令和4年度第1回理事会については、令和4年4月8日に開催することとされた。

また、令和4年度定時社員総会及び代表理事等選定理事会については、令和4年4月15日に開催することとされた。

オ 令和4年度の事務局体制

事務局から、令和4年度の事務局体制について協議があり、役員において協議の結果、令和3年度と同様の体制（石原事務局長、小松囑託員）とすることが承認された。

(2) 委員会等の事業

ア 第17回技術研究発表会の発表者の選定

事務局から、令和4年6月24日に開催を予定している「第17回技術研究発表会」に関して、技術発表者の会員企業からの応募結果及びこの結果を踏まえた技術研究部会から理事会への発表者の推薦状況について報告があった。

役員において協議の結果、技術研究部会から推薦のあった7名全員が発表者として選定された。

イ 広報冊子の活用等

事務局から、当協会が作成した広報冊子（「CONPA」、「CON-PASS」）について、技術研究部会が静岡市立中央図書館と協議した結果、「内容に公共性がある」との判断がなされ、市内12か所の図書館に配架して頂けることとなったとの報告があった。

役員からは、浜松市など他の市町においても配架して頂くために、今後積極的なPR活動を進めていくよう指示があった。

また、本年度作成した広報冊子（「JAB-CON」）のPRに活用するための普及用ポスターを追加作成することについて協議があり、役員において協議の結果、承認された。

ウ 静岡土木技術研究会

事務局から、静岡理工科大学の主催により令和4年4月から発足する「静岡土木技術研究会」の概要について報告があった。

当該研究会から当協会に対して参加協力の依頼がなされているとの説明があり、当協会としても業界の情報発信、会員の技術力の向上、人材確保等の面から同大学との連携を深めていくことは有意義なことと判断されるため、技術研究部会を窓口として研究会活動に参加していくこととされた。

(3) 行政機関等への協力事業

ア 狩野川流域治水協議会

事務局から、国土交通省沼津河川国道事務所が所管する「狩野川流域治水協議会」について、当協会に対してオブザーバーとしての参加の依頼があり、令和4年3月8日に開催された令和3年度第2回協議会に森崎会長が参加したとの報告があった。

事務局からの報告後、森崎会長から協議会の開催の概要について説明があった。

イ 静岡県企業局との災害時情報伝達訓練

事務局から、静岡県企業局との間で締結した「災害又は事故における設計等業務委託に関する協定書」に基づく災害時情報伝達訓練を、令和4年3月2日に実施したとの報告があった。

ウ モンゴル国における生活排水処理技術支援プロジェクト

事務局から、静岡県が実施する「モンゴル国における生活排水処理技術支援プロジェクト」について、令和4年2月、当協会に対して協力依頼があり、令和4年3月8日に協力企業を対象として開催された説明会には、当協会の会員からは、(株)蓮池設計が参加したとの報告があった。

今後、参加企業が決定した段階で、県から当協会への推薦依頼手続きが行われる予定であるとのことであり、協会としても行政機関への強力事業として位置付け、県の事業推進に協力していくこととされた。

エ コンクリート構造物の補修・補強フォーラム 2022 の後援

事務局から、「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム 2022」について、(社)コンクリートメンテナンス協会から後援の依頼が行われているとの報告があった。

本事業は、令和3年度についても後援を行っている事業であり、会員の技術力向上にも寄与するものと認められることから、後援の依頼を受諾することとされた。

(4) 報告事項

ア 独占禁止法遵守及び建設関連業務委託安全研修会

事務局から、県測量設計業協会が主催、当協会、県地質調査業協会、日本補償コンサルタント協会中部支部静岡県部会が共催する、「独占禁止法遵守及び建設関連業務委託安全研修会」が令和4年1月25日に開催され、当協会から27名の出席者があったこと。また、当協会の開催経費負担金として4万7千円を支出したとの報告があった。

イ 会員の動静

事務局から、(株)アクトより令和4年3月をもって当協会を退会する旨の届出がなされたとの報告があった。

ウ その他

- 事務局から、令和4年3月に開催が予定されていた全国建設コンサルタント業協会連合会の理事会が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とされたとの報告があった。

- ・ 藤山副会長から、国との意見交換会において県内企業への発注を要望していることを踏まえ、国からの依頼があった場合には、会員も協力していく必要があるとの意見があった。

議長は、議事運営に対する各理事、監事の協力を述べ、第6回理事会を11時30分に閉会した。

以上の議事の経過及び結果を明らかにするため、議事録を作成し、定款第37条に基づき、議長及び出席した監事が記名押印する。

令和4年3月18日

議長・代表理事 森崎祐治 ⑩

監事 杉山博 ⑩

監事 小田稔彦 ⑩